✻　園長のひとりごと

待ちに待った「本格的な夏の到来！」ではありますが、7月初旬は本州の猛暑とは裏腹に気温の低い日が続き、「ひょっとして、今年の夏は終わった？」とも思ったのですが、ようやく入道雲の似合う夏の空が来てくれました。

ただ、いきなりの30度越えの日が続いており体調の維持が難しい事も有ると思いますが、何事も「過ぎたるは及ばざるが如し」で、過度に冷たい飲み物を大量に摂取したり、エアコンの冷気をあび続けたりすると、かえって体調不良を招く事も考えられます。

「暑いから・・・」で括ってしまわず、睡眠時間の確保と必要な栄養摂取に注意して、猛暑の夏を乗り切って行きたいものですね。

7月21日には、4年ぶりのふれあい祭りを開催させて頂きました。まだ市内高校等でのコロナ感染が報道される中では、飲食を伴う形は控えさせて頂き1時間ほどでの開催を計画しておりましたが、当日は用意したゲームの景品やかき氷、盆踊りの花火など200人分以上用意したものの全てが無くなり、花火をお渡しできなかったお子さんには引換券を配布させて頂く事になり、大変申し訳なく思っております。

来年のふれあい祭りでは、このような事の無いよう十分準備して臨みたいと思います。

おいで頂いた皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

夏の遊びをたっぷり楽しみながら、子どもたちの楽しみは次第に「運動会」に向かって行きます。みんなと一緒に頑張るぞー！という気持ちや、〇〇君には負けたくない！失敗しないで出来るかな・・・・いろんな気持ちが交錯する中での運動会。

上半期の中での一番大きな行事をこれから迎える訳ですが、これまでのコロナ禍での運動会から従来の運動会に近づいた形での開催を想定しております。

具体的には、開催時間は午前中とし昨年迄の観覧者数の制限は設けない方向で検討しております。また、開催時間を午前中とするため競技数も昨年同様と成り、小学生や祖父母の競技は時間的に困難な状況でありますこと御理解下さい。

これから、夏のご旅行やお墓参りなどに出かけられる方もいらっしゃるかと思いますが、この時期子どもたちの生活リズムが乱れやすい時期でもあります。特に夜更かしの影響は翌日以降様々な面で出てきますので、くれぐれもお気を付け下さい。

北海道の短い夏です。急な豪雨と「神出鬼没の熊」に気を付けながら、ご家族の楽しい思い出を沢山作ってくださいね。